



第22期 株主通信

2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

 **ジャパンマテリアル株式会社**

証券コード：6055

ごあいさつ

Greeting

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第22期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 田中久男

おかげさまで、第22期の売上高は359億27百万円、営業利益は79億5百万円となり、6期連続増収増益、最高益更新と右肩上がりの成長を遂げております。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。

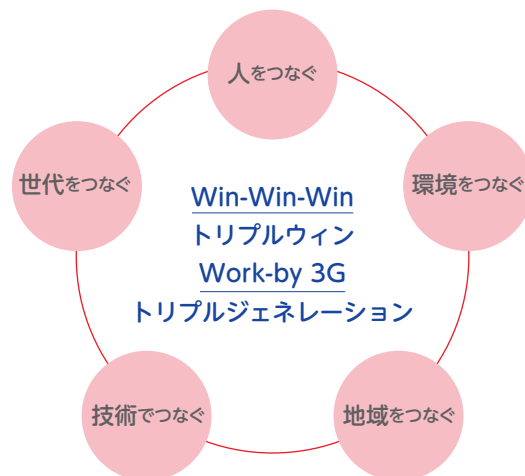
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

第22期ダイジェスト

Summary

売上高

359億27百万円

前年同期比29.1%増



営業利益

79億05百万円

前年同期比34.4%増



経常利益

79億22百万円

前年同期比33.3%増



親会社株主に帰属する当期純利益

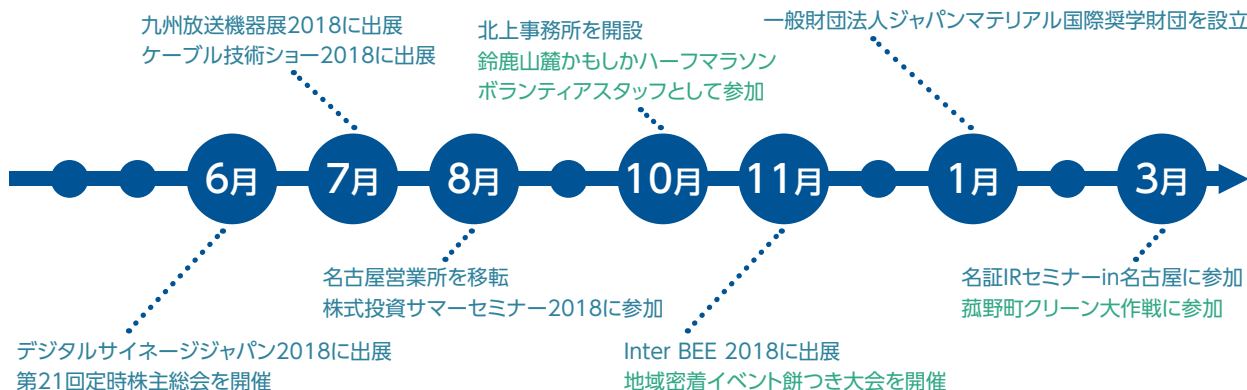
55億14百万円

前年同期比34.5%増



- イニシャル部門は年度後半にかけて主要顧客である半導体工場においてNAND型フラッシュメモリ向け設備投資は抑制がみられたものの、DRAM向けでは設備投資が引き続き実施されたことに伴い好調に推移
- オペレーション部門も一部生産調整が行われたものの、特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンスを中心に順調に推移

トピックス



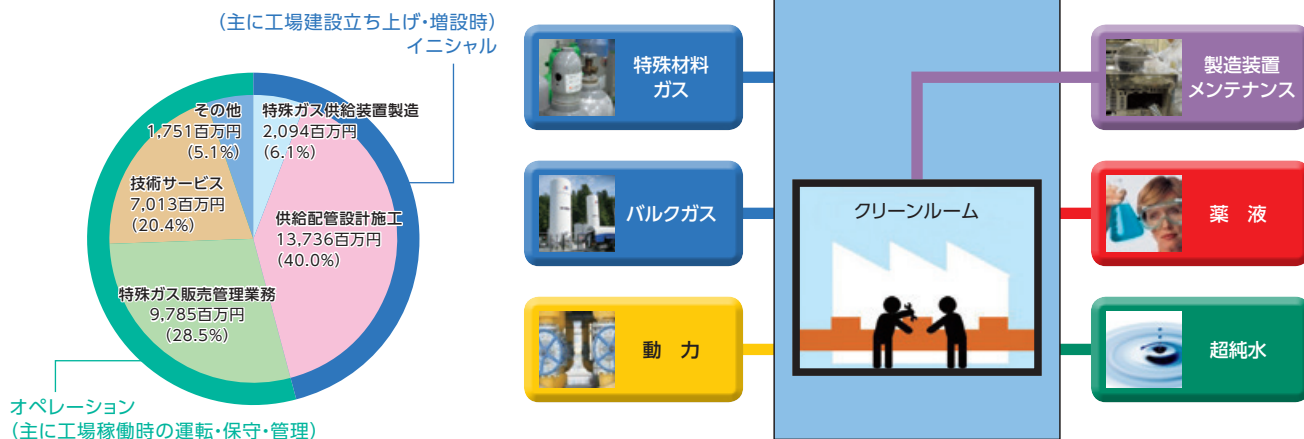
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更にお客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



北上事務所・北上事業所を開所しました

当社は、2018年10月に主要顧客の新工場に近い岩手県北上市に北上事務所を開所いたしました。2019年4月には北上事業所を開所しており、すでに顧客の新工場にて供給配管工事などに対応しております。北上事業所には、特殊ガス供給装置の製造と配管加工能力の増強を目的としたクリーンルームや資材倉庫を兼ね備えた事務所棟のほか、ガス倉庫、薬品倉庫を併設しております。新工場建設中のサポートはもちろんのこと、顧客の生産開始に合わせ技術サポート体制を整え、更なる事業拡大を図ってまいります。



▲北上事業所

グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品等の販売・サポート、コンテンツ制作、システム構築を行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビション等幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送に関わる製品等の販売・サポートを行っております。

放送局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

「デザインあ展」にBrightSignシリーズが使用されました

2018年に富山県美術館(富山県)・日本科学未来館(東京都)にて開催された展示会「デザインあ展」で、グラフィックスソリューション事業部が取り扱う「BrightSign」シリーズが、映像コンテンツの再生機として使用されました。

「デザインあ展」は、こどもたちのデザインマインドをはぐくむ番組NHK Eテレ「デザインあ」のコンセプトを、実際の体験に発展させた展示会です。「観察のへや」「体感のへや」「概念のへや」「体験コーナー」など様々な展示を全身で体感でき、BrightSignは「体感のへや」「概念のへや」で使用されました。「体感のへや」では、BrightSignにより展示室の四方の壁面いっぱいに出力された音楽と映像がシンクロし、360°を取り囲む映像と音によってデザインの体感を可能にしました。「くうかん」「じかん」「しくみ」の3つのテーマで構成された「概念のへや」では、「じかん」のコーナーで使用されました。



当期の業績についてお聞かせください。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は、年度後半にかけて主要顧客である半導体工場においてNAND型フラッシュメモリ向け設備投資は抑制がみられたものの、DRAM向けでは設備投資が引き続き実施されたことから好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門も一部生産調整が行われたものの、特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンスを中心に順調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、展示会を通じて製品のPR活動や、取引先に対する積極的な営業活動を継続したことで、主にデジタルサイネージ向け販売、放送業界向け販売を中心に順調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所（出力合計3.9メガワット）が稼働しております。

以上の結果、業績に関しては下記のとおりになりました。

次期の見通しについてお聞かせください。

当社グループが属する半導体業界におきましては、車載向けやデータサーバー向けの需要が市場をけん引するものと予測されることから、設備投資は継続して実施されるものと考えられます。中小型ディスプレイ業界におきましては、スマートフォンや車載向け有機ELの需要が市場をけん引するものと予測されます。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、事業領域の拡大を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門の半導体製造装置メンテナンスにおいて、顧客からの需要に応えるべく、積極的に技術者の採用を行うとともに、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント（TFM）」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。

業績ハイライト

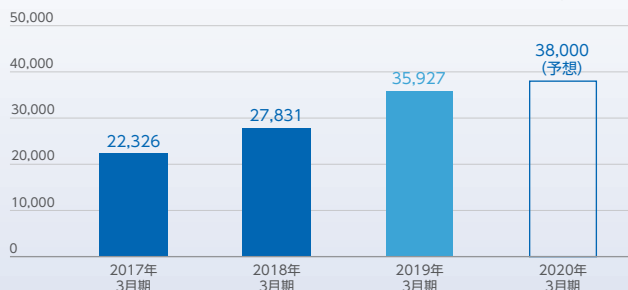
売上高

359億27百万円

前年同期比
29.1%増



（単位：百万円）



※2020年3月期の予想は2019年5月14日現在のものです。

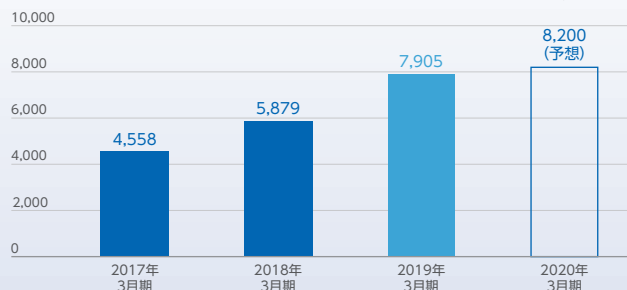
営業利益

79億05百万円

前年同期比
34.4%増



（単位：百万円）



す。また、イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資が継続的に実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。さらにパソコン関連部品であるマルチディスプレイ用グラフィックボード、放送業界向けテロップシステムなど積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



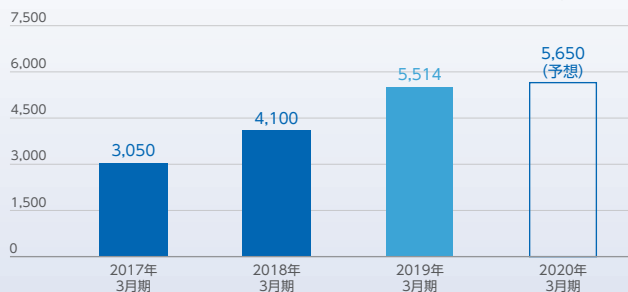
親会社株主に帰属する当期純利益

55億14百万円

前年同期比
34.5%増



(単位：百万円)



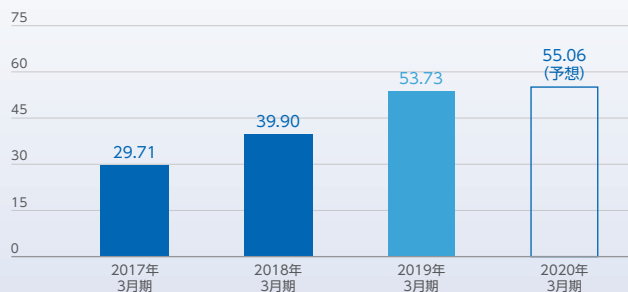
1株当たり当期純利益

53円73銭

前年同期比
34.7%増



(単位：円)



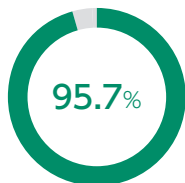
※2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして1株当たり当期純利益を表示しております。

事業概況

Segment Overview

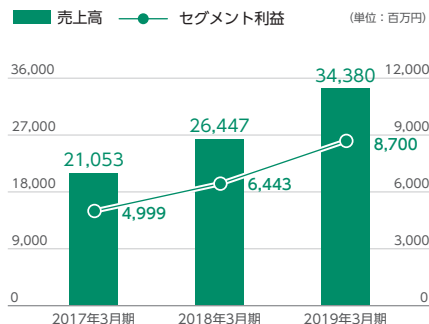
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



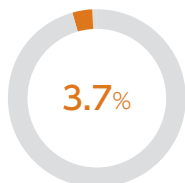
売上高	343億80百万円 (前年同期比 30.0% 増)
セグメント利益	87億00百万円 (前年同期比 35.0% 増)

半導体製造装置メンテナンス事業が拡大
特殊ガス販売管理業務、技術サービス等のオペレーション部門が順調に推移



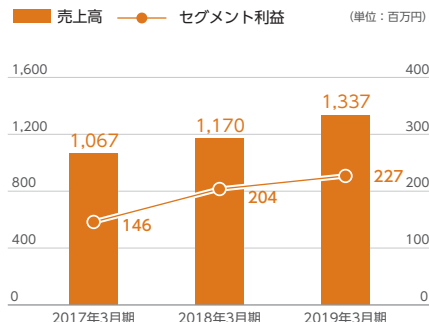
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



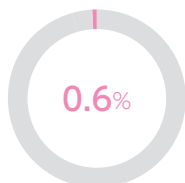
売上高	13億37百万円 (前年同期比 14.3% 増)
セグメント利益	2億27百万円 (前年同期比 11.3% 増)

デジタルサイネージ向け製品や放送業界向け製品を中心に積極的な
営業展開を継続したことにより順調に推移



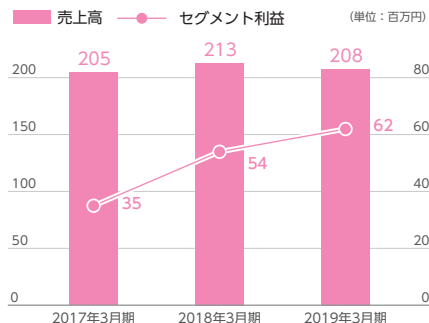
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	2億08百万円 (前年同期比 2.0% 減)
セグメント利益	62百万円 (前年同期比 15.8% 増)

三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計3.9メガワット)が稼働



連結財務データ

Consolidated Financial Statements

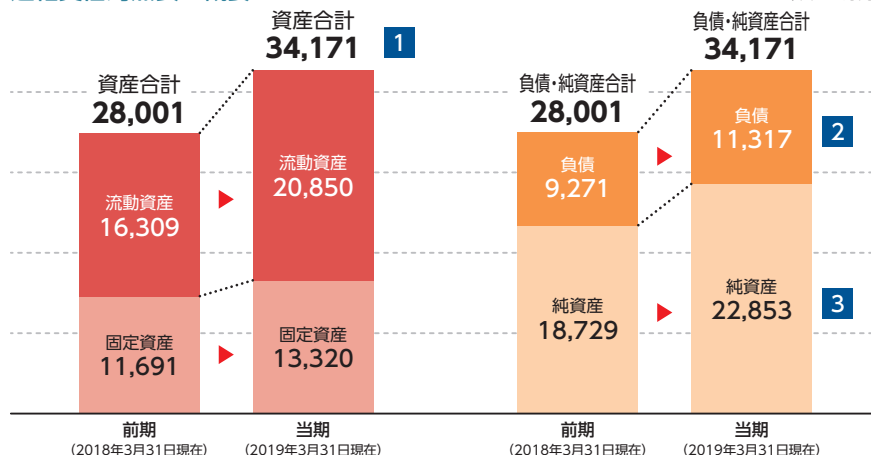
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

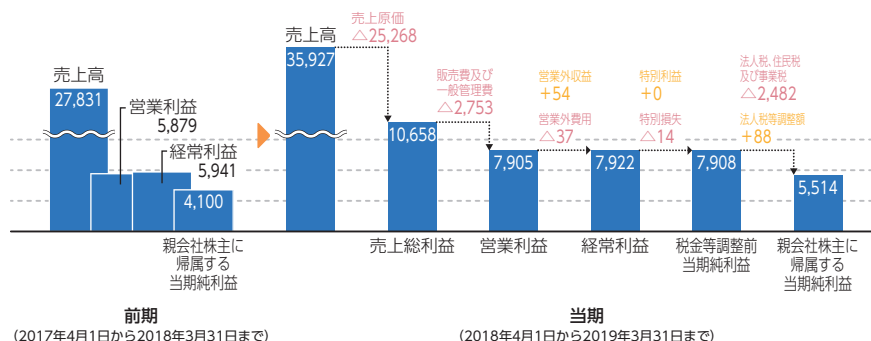
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



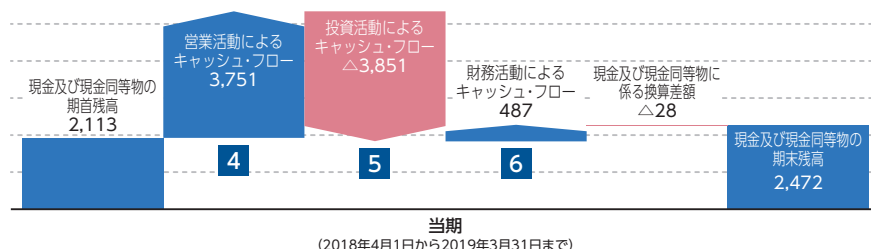
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は341億71百万円となり、前期末に比べ61億70百万円増加しました。
主に有形固定資産、受取手形及び売掛金、仕掛品等が増加しました。

2 負債合計

負債合計は113億17百万円となり、前期末に比べ20億46百万円増加しました。
主に短期借入金、未払法人税等が増加しました。

3 純資産合計

純資産合計は228億53百万円となり、前期末に比べ41億24百万円増加しました。
利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益79億08百万円、リース債権及びリース投資資産の減少13億13百万円、減価償却費の計上4億67百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加21億87百万円、たな卸資産の増加21億33百万円、法人税等の支払額21億91百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

支出の主なものは有形固定資産の取得による支出37億08百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは短期借入金の純増額17億84百万円であり、支出の主なものは配当金の支払額10億27百万円であります。

会社情報

Corporate Data

会社概要(2019年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)1,080名、(単体)277名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番22

関係会社(2019年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社バック・ステージ※	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

※非連結

役員(2019年6月26日現在)

代表取締役社長	田 中 久 男
常務取締役執行役員	深 田 耕 志
常務取締役執行役員	甲 斐 哲 郎
取締役執行役員	長 谷 圭 祐
取締役執行役員	矢 内 信 晴
取締役執行役員	坂 口 好 則
取締役執行役員	田 中 智 和
取締役執行役員	田 中 宏 典
社 外 取 締 役	町 田 和 彦
社 外 取 締 役	大 島 次 郎
常 勤 監 査 役	喜 多 照 幸
社 外 監 査 役	安 井 広 伸
社 外 監 査 役	春 馬 葉 子
執 行 役 員	北 川 浩 二
執 行 役 員	森 正 勝

グループネットワーク

海外

【台湾】

茂泰利科技股份有限公司



【シンガポール】

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD



ジャパンマテリアル株式会社

本社工場
四日市事業所
四日市TGM事業所
株式会社東和商工
株式会社JMテック
株式会社クスノケミコ
株式会社JMエンジニアリングサービス
株式会社PEK四日市事業所

石川事業所

株式会社JMテック能美事業所
川北事業所
白山事業所
株式会社PEK能美事業所
白山事業所

株式会社JMテック
柏崎事業所

株式会社JMエンジニアリングサービス
広島事業所

株式会社東和商工
大年田事務所

株式会社PEK
堺事業所
名古屋営業所
株式会社JMテック東浦事業所

東京本部
株式会社シーセット
株式会社バック・ステージ
株式会社シーセット浜松オフィス

北上事業所
北上事務所

茂原サービスセンター
株式会社JMテック茂原事業所

株式情報

Stock Information

株式の状況(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	324,000,000株
発行済株式の総数	102,620,946株(自己株式2,528,574株を除く)
単元株式数	100株
株主数	5,166名

大株主の状況(2019年3月31日現在)

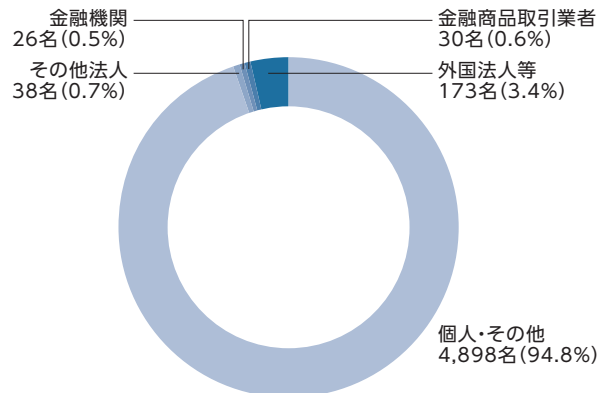
株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	14,314,300	13.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,497,800	11.2
田中 智和	9,699,700	9.5
株式会社HT	6,000,000	5.8
T&T株式会社	6,000,000	5.8
喜多 照幸	4,341,460	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,239,900	3.2
モルガン・スタンレー・MUFG証券株式会社	2,323,569	2.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,241,950	2.2
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	2,161,845	2.1

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,528,574株)を控除して計算しております。

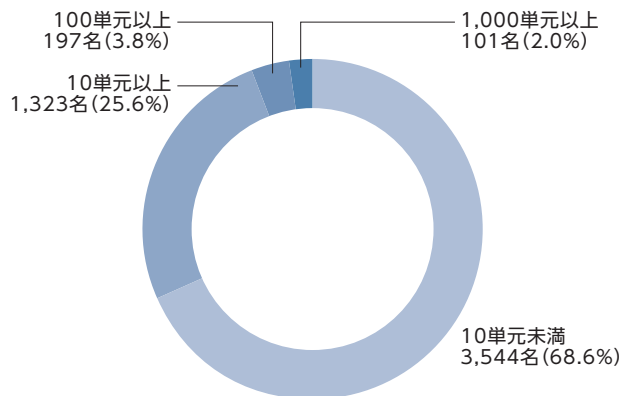
株価チャート



所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



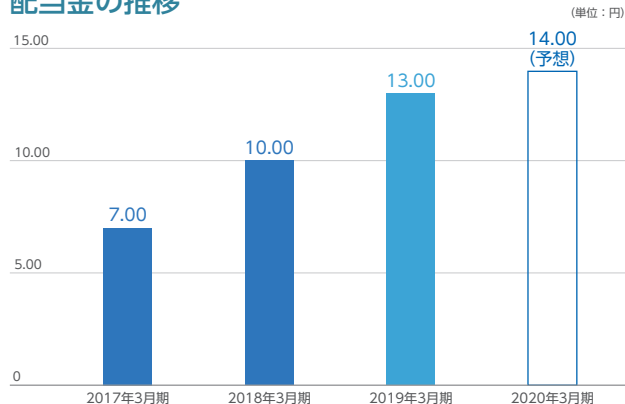
IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。
http://www.j-material.jp/jm_ir.html

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移



2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして表示しております。

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



保有株式数		優待内容
5,000株以上		クオカード 5,000円分
1,000株以上	5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上	1,000株未満	クオカード 1,000円分

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領
株主確定日 3月31日（期末配当）

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（通話料無料）

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。